

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価結果・学校関係者評価

学校名	佐賀市立金立小学校
-----	-----------

達成度(評価)
A: 十分達成できている
B: おおむね達成できている
C: やや不十分である
D: 不十分である

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研究の取組の一つとして「授業づくりチェックシート」の共通理解を図り、チェックシートを活用した研究授業を全員行うことができた。 ・日頃から、学級内の人間関係づくりにおいて信頼関係の構築に力を注ぎ、学級・学年の状況やつながりをより豊かにするために取り組んできた。今後も定期的にアンケートを実施することで、「いじめ」の早期発見・事業対処に万全を尽くしたい。 ・今年度も、コロナ禍のため、地域との交流が例年通りにはできなかったが、人数制限や規模を縮小しながら、実施することができた。次年度は、地域との関わりを深めたいために、「開かれた学校づくり」の充実を図り、保護者や地域の方の意見や思いをより多く取り入れながら、地域との絆の構築に努め、「コミュニティスクール」に取り組んでいきたい。 ・「働き方改革」については、個人差はあるものの授業時間の短縮など一定の効果をおよぼすことができた。今後さらに、全職員で効率的な業務推進に取り組む意識をもつことができるように、日本の業務について研修を深めて推進していく。また、ICT機器の活用や共有フォルダ運用をさらに推進して業務の効率化を目指していく。
---------------	--

2 学校教育目標	志高く 心豊かに 学ぶ金立
----------	----------------------

3 本年度の重点目標	①目指す子ども像(かしこい子・やさしい子・たくましい子・ふるさとを愛する子)の確かな実現 ②特別支援教育の充実 ③働きやすい職場環境づくり ④地域・保護者に開かれた学校づくり
------------	--

4 重点取組内容・成果指標 5 最終評価

(1)共通評価項目				最終評価				
評価項目	重点取組	成果指標(数値目標)	具体的取組	達成度(評価)	実施結果		学校関係者評価	
					評価	意見や提言		
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師90%以上。	・教職員間で、マイプランを共有するとともに、校内研修などにより、取組の促進を図る。	B	・教職員のアンケートで学力向上対策シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師の割合は80%であり、成果指標は達成できていない。今後も学力向上のために手立てを図っていく必要がある。	B	・十分取り組んでらっしゃる。	・「分かりやすい授業だった」という子どもが多かったのはよかった。
	○普段の授業の不断の見直し	○児童アンケートで「金立小学校 学習の約束」を守ることができていると回答した児童の割合が95%以上。 ○児童アンケートで「授業は分かりやすい」と回答した児童の割合が95%。 ○教職員アンケートで、「金立小 授業づくりチェックシート」に沿って、普段の授業の振り返りや見直しを行っていることに肯定的に回答した教員が90%以上。	・「金立小学校 学習の約束」を学級に掲示し、学級で取り扱う。 ・「授業づくりチェックシート」を活用し、授業を行う。	B	・児童アンケートで「学習の約束」を守ることができていると回答した児童の割合は93%。「授業は分かりやすい」と回答した児童の割合は92%でいずれもわずかに成果指標に及ばなかった。各学級に「学習の約束」を掲示しているが、指導は学級担任任せになっているので、学期初めは必ず確認することを徹底していく必要がある。 ・「授業づくりチェックシート」の活用により肯定的に回答した教員の割合は100%であり、シートを手元に置き、定期的に振り返りを行うことで、教員の意識が高まっていった。	B	・先生方の努力が伝わってきた。	・日々、頑張っている先生がたくさんいる。
●心の教育	●児童が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会的、倫理的な正統感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○児童アンケートで「人権集会などを通して人権について深く考えることができた」に肯定的に回答した児童の割合が90%以上 ○学校生活アンケートの満足に関する項目において、肯定的な回答をした児童の割合が90%以上。 ○読書において、各学年の目標冊数を達成した児童の割合が90%以上。	・毎月第3木曜日に人権集会または、人権教室を行う。 ・学校全体で読書の別案を作り、実施する。 ・授業参観で「ふれあい読書の授業を行い、保護者への啓発を図る。	B	・人権教室などを通して、友達よきや自分よきに気づきかけになった。 ・94%の児童がアンケートで「人権集会などを通して人権について深く考えることができた」に肯定的に回答しており、成果指標を上回っている。 ・読書において、各学年の目標冊数を達成した児童の割合は90%以上を達成できていない。読書目標冊数の達成率が学級ごとには異なるので、担任からの声かけ読書の奨励を全職員でもっと行っていく必要がある。	A	・子どもたちの発達段階に合わせて、いろいろな取組をしていただき、ありがたいと思う。	・児童アンケートの結果はまずまずであり、よいと思う。
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○教職員アンケートで「いじめの未然防止及び早期発見・早期解決」に肯定的に回答した教職員の割合が90%以上。 ○児童アンケートで「学校が楽しい」と回答した児童の割合が95%以上。	・グループ学年を中心に複数の教員で児童に関わる。いじめに気づくための組織的・継続的な対応に努める。 ・毎月の「いじめ・いじめのちを考えると」に「生活と心のアンケート」を実施し、気になる児童について情報を把握し、解決を図る。 ・いじめをしない、いじめを許さない児童を育てると共に、支持的風土のある学級づくりをする。	A	・「生活と心のアンケート」を基に担任による聞き取りをしたり、スクールカウンセラーにつなげたりし、児童の心の安定を図ることができている。しかしながら、児童アンケートで「学校が楽しい」と回答した児童の割合が84%で成果指標は達成できなかった。 ・小規模校の特色を生かし、いじめ等の未然防止・早期発見の体制がしっかりできており、教職員アンケートで「いじめの未然防止及び早期発見・早期解決のための組織的・継続的な対応ができていく」に肯定的に回答した教職員の割合は100%であった。	A	・最近では、金立小学校でのいじめ事案の話はほとんど聞かない。子どもたちは、みんな明るく、元気である。	・金立小の子どもたちは明るく元気な学校生活を送っているようである。
	◎自らの夢や目標の実現に向けて努力する気持ちを高める教育活動の推進	◎児童アンケートで「将来の夢や目標をもっている」に肯定的な回答をした児童の割合が80%以上。	・キャリアサポートを活用し、児童一人一人の個人目標の自己決定に向けた指導の充実を図る。また、その目標達成に向けた取り組みや活動の振り返りを記録し、自己の姿を意識させるなど、キャリア教育の充実を図る。	A	・児童アンケートで「将来の夢や目標をもっている」に84%の児童が肯定的な回答をし、成果指標を達成することができた。今後も児童が将来の夢をもてるようにキャリア教育の充実を図っていく。	A	・将来の夢や目標をもった子どもが多いのは、嬉しいことと思う。	・子どもたちの性格や興味・特技を生かしたアイデンティティの確立に取り組ませてもらいたい。
●健康・体づくり	●「運動習慣の改善や定着化」	○授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童が70%以上。 ○給食後に前庭を走る児童の割合を100%。 ○朝食摂取率90%以上。	・「さわやかタイム(縦割り活動)」を実施し、戸外での運動を推奨する。 ・給食後で朝食の必要性や給食献立について伝える。年3回、朝食に関するアンケートを実施する。 ・栄養教諭や栄養職員、歯科医等と連携して、食育や健康に関する指導や授業を行う。	A	・5、6年生のアンケートで給食後の前庭ができていますかの質問に「できた」「だいたいできた」と回答した児童が87.7%であった。 ・「一日一時間、外で遊ぶ」と回答した児童は、70%を上回ることで達成。 ・「健康増進週間」のアンケートを実施し、朝食摂取率90%以上を達成できた。年に3回予定していた朝食調査は、2回実施した。	A	・朝ごはんは、ぜひ食べる必要があると思うので、引き続き、頑張ってください。	・体育の授業だけでなく、多くの子どもたちが昼休みなどにも外で元気な遊んでいる姿が見られる。
	○新型コロナウイルス感染防止	○正しくマスクを着用している児童、手洗い消毒をきちんと行っている児童が100%。	・学期ごと「保健タイム」を実施、養護教諭が作成したスライドを使用し担任による保健指導を実施。 ・校内放送、保健便りを通して感染症予防について保健指導を行う。	A	・5、6年生のアンケートで「正しくマスクを着用し、手洗いや消毒をきちんとしていますか」の質問に「できた」「だいたいできた」と答えた児童が100%であった。	A	・コロナ感染予防対策については、よく取り組まれている。	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●業務委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守できている。	・共有フォルダを利用して、様式や業務データの共有化を行い、効率的な業務遂行に努める。 ・定時退勤日(金曜日)するとともに、定時退勤日以外の日も定時退勤を徐々に早められるよう、声掛けをしていく。	A	・毎週金曜日を「定時退勤推進日」として黒板に明記することで、優先順位を考え業務を遂行することができ、退勤時間が早まることにつながった。 ・1学期は、時間外勤務時間が毎月40時間を越えていたが、職員の意識が少しずつ浸透し、自己管理ができる職員が増え、19時には、ほぼ全員(100%)が退勤するようになった。 ・全職員の時間外勤務平均時間 32.4時間 ・年次休暇の取得状況については、昨年度(130日)、今年度(147日)と増加傾向にあり、引き続き年休の取りやすい職場環境を保持していきたい。	A	・現状で、時間外勤務を大幅に縮減することはなかなか難しいことと思うが、どこかで良しとして考えてもらうことが、大事ではないだろうか。	・業務効率化を進められ、時間外勤務時間の縮減ができていっているように思う。
	○勤務規律の保持と働きやすい職場環境づくり	○教職員アンケートで「学校の内外を問わず、危機管理意識をもって行動できている」に肯定的に回答した教職員の割合が100% ○年間を通して、教職員の信用失墜行為0	・毎月10日を「不祥事根絶ゼロの日」とし、不祥事予防のためのチェックをすることにより、職員の危機管理意識を高める。	A	・教職員アンケートで「学校の内外を問わず、危機管理意識をもって行動できている」に、肯定的に回答した職員は100%であり、成果指標を達成することができた。 ・毎月10日に「不祥事根絶ゼロの日」の取り組みとして不祥事予防のためのチェックを実施することで、年間を通して、教職員の信用失墜行為0という結果であった。	A	・学校としての努力が見られるので、引き続き、頑張ってください。	・先生方は常に危機意識をもって行動できている。

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				最終評価				
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	達成度(評価)	実施結果		学校関係者評価	
					評価	意見や提言		
○特別支援教育の充実	○個々の児童の「困り感」に寄り添った教育の実現	○教職員アンケートにおいて、「特別支援教育に関する専門性が向上した」について肯定的に回答した教職員の割合が80%以上。 ・「特別支援的な配慮を心掛けている」について肯定的に回答した教職員の割合が90%以上。	・年間3回以上研修会を行い、教員の専門的知識を深める。 ・事例研究等で児童理解に努めて、個に応じた指導・支援を行う。 ・各学年、特別支援学校と綿密な計画を立て、年1回ずつの交流を行う。	A	・特別支援教育に関する専門性が向上した」について肯定的に回答した教職員の割合が95%以上。 ・「特別支援的な配慮を心掛けている」について肯定的に回答した教職員の割合が95%以上であり、成果指標を達成することができた。 ・10月に全校研を行い、研修を深めた。 ・毎月、全職員で気になる児童や配慮を要する児童の共通理解を図った。いろいろな職員が積極的に児童や保護者に関わり、必要な指導や支援を行った。 ・特別支援学校との交流は、リモートでの交流や、ビデオレターのやり取りなどをして、全学年交流することができた。	A	・アンケートも95%達成となっており、先生方の日々の努力がうかがえる。	・改めて、いろいろなことを手厚く考えながら、子どもたちを見ていただいていると思った。
○地域連携教育	○ふるさとを愛する児童の育成と地域・保護者に開かれた学校づくり	○児童アンケートで「ふるさと(金立)に愛着をもち大切にしようと思う」と回答した児童の割合が90%以上。 ○年毎、週1回以上の学校HPのお知らせ、イベントギャラリー等の更新を行う。 ○年間を通して、40号以上の学校便りを発行する。	・金立町の教育資源や人材等を活用した「金立郷土カルタ大会」や「金立探検隊」などを通して、ふるさと「金立」のことを知り、愛着をもつ。 ・「千の花の会」との植樹や「美化美化大作戦」など地域とつながる学校の魅力づくりプロジェクトを実施する。	A	・児童アンケートで「ふるさと金立町に愛着をもち、大切にしようと思う」について肯定的な回答をした児童の割合が94.7%であり、目標を達成することができた。 ・地域ボランティアとして、児童の学習支援に多くの方に来ていただいた。(ミシンボランティアやけいぎ九九ボランティア、音遊び、読み語りなど) ・学校便りおよび学校HPを通して、地域や保護者へ学校の様子を常に配信した。2月20日現在で学校便り39号発行、イベントギャラリー250回更新	A	・「金立郷土かるた大会」や「金立探検隊」の他、音遊び等も定着している。	・「金立郷土かるた大会」は、とても素晴らしい取組である。子どもたちも学年が上がるにつれて引き込まれる。これからもぜひ続けてほしい。
○幼保小連携	○雄飛学園教育構想による金泉校区の教育推進	○幼保小連携協議会や雄飛学園教育研究会において、職員の交流や連携を図る。(連携協議会 3回、合同研修会 3回の実施)	・小中連携の雄飛学園教育や金泉中に入学する仲間意識を高める小中連携交流活動を実施する。 ・長期休業中や参観日等、職員の参観・体験活動を計画的に実施する。 ・職員の合同会議・合同研修を行い、雄飛学園教育の取り組みを3校合同で推進する。	B	・中学校区内3校で組織する雄飛学園教育において、今年度もコロナ感染予防対策のため、児童同士の交流や中学生との交流は十分にできなかった。園児との交流(1日体験入学)をできる範囲で行うこととなった。 ・職員同士の交流については、年3回の雄飛学園教育合同研修会を実施することができた。小学校のフリー公開授業が実施できていないので、来年度は、3校で話し合い、日程調整を必要がある。	B	・コロナ禍で、なかなか実施できないところもあるが、次年度はぜひ、幼保小の連携(交流)を充実させてほしい。	・金立小の子どもたちが幼稚園の近くを通る時に、笑顔で挨拶してくれるのがよい。

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ・学力の向上においては、学力向上対策シートに示したマイプランの成果指標を達成した割合は、80%であった。今後も校内研究を通して、「授業づくりチェックシート」を活用しながら、学力向上に取り組んでいきたい。 ・日頃から、学級内の人間関係づくりにおいて信頼関係の構築に力を注ぎ、学級・学年の状況やつながりをより豊かにするために取り組んできた。今後も定期的にアンケートを実施することで、「いじめ」の早期発見・事業対処に万全を尽くしたい。 ・「働き方改革」については、個人差はあるものの授業時間の短縮など一定の効果をおよぼすことができた。今後、ICT機器の活用や共有フォルダ運用をさらに推進して、業務の効率化を目指していく。 ・今年度は、人数制限や規模を縮小しながらコロナ感染予防対策を行いながら、地域との交流を実施することができた。次年度は、さらに地域との関わりを深めたいために、コミュニティスクールを活用しながら、「開かれた学校づくり」の充実を図り、保護者や地域の方の意見や思いをより多く取り入れることで、地域との絆の構築に努めたい。
----------------	---